

東京社会福祉士会 ニュース



No.236
April 2017

『我が事・丸ごと』 地域共生社会」を読み解く

変わる福祉の仕事——社会福祉士はどうすればよい？

「ニッポン一億総活躍プラン」に掲げられている地域共生社会の実現に向け、厚生労働省は急ピッチで「我が事・丸ごとの地域づくり」の体制構築を進めている。昨年末には「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会（地域力強化検討会）」（座長：原田正樹 日本福祉大学教授）」の中間とりまとめがとりまとめられ、それを受けて2月7日、理念規定と体制づくりへの市町村の努力義務を定めた「社会福祉法改正案」が国会提出されたところである（法案名は「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」）。

地域力強化検討会の中間とりまとめは、わざわざサブタイトルに「～従来の福祉の地平を超えた、次のステージへ～」と配しており、ソーシャルワーカーの業務が今後一新されるかのような示唆を強烈に発している。柱は、①「暮らし」と「しごと」を丸ごと支えるような支援の営み、②地域における「我が事意識」の醸成——の2点。ただし、その担い手として社会福祉士が資格任用と位置づけられるかについては、ほぼゼロ回答の内容だ。

これをどう受け止めればいいのか。今後の社会福祉をめぐる環境変化に、私たち社会福祉士はどう対応すればいいのか。今号では、地域包括ケア及び生活困窮者自立支援の第一線で活躍されている3名のエキスパートに、中間とりまとめを読み込んでの寄稿と突っ込んだ議論をいただいた（次頁より）。

Contents

特集：「我が事・丸ごと地域づくり」を読み解く …………… 1	生涯研修総合案内「生涯研修」を受講してください ……29
支援は続く——福島県復興支援員報告より ……………12	情報ファイル（地区会／センターからの告知） ……………38
成年後見制度利用促進でパブリックコメント提出 ……………14	事務局から①ホームページの使い方 ……………40
高校生向け職業体験・相談イベントに出展 ……………16	事務局から②理事選挙／年会費の引き落としについて ……42
新・社会福祉士の皆様に贈る招待状 ……………17	「夜間電話相談」の取り組みが評価されています！ ……43
おめでとうございます！心より歓迎します!!	e-ラーニング、試してみました／編集後記 ……………44

e-ラーニング、試してみました

日本社会福祉士会によるオンデマンド研修「e-ラーニング」の試行事業に、モニターとして参加してみました。

当会のホームページでもモニター募集の案内が掲示されてあったので、皆さんご承知のことと思いますが、試行事業の期間は昨年12月から2月中旬までの約2ヶ月間。自己研鑽に励みたい意思はあるものの、家事・育児に追われ時間的・金銭的余裕はない私にとって、実に有難い企画でした。早速12月に申込み、「いざネット視聴を！」とアクセス。中身はこんな感じです。

生涯研修	制度の動向
<ul style="list-style-type: none"> 学校における社会福祉士の役割 矯正施設における社会福祉士の役割 ソーシャルワーク専門職のグローバル定義 	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度利用促進法の意義と課題 障害者の権利に関する条約について 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について 児童福祉法等の改正について 自殺対策基本法の一部を改正する法律について 第3次犯罪被害者等基本計画について

*以上のほか、「会からの情報提供等」がありました



資料をダウンロードしてプリントアウトし、講義映像をスタート。その道の第一人者による講義なので、内容は最新で的確でわかりやすかったです。資料は手元にあるし、巻き戻しできるから聞き漏らしの心配ありません。途中で中断しても平気。こうした使い勝手のよさがe-ラーニングの強みなのでしょう。

しかし(!) 自主学習の難しさここにあり。仕事を終えて夜中に視聴を始めると、睡魔に襲われ、気がつけば講義が終わっていた事もしばしば。修了テストに合格するはずもなく、再視聴となることたびたび。まあ、私自身の問題ではあるのですが…。

モニター終了後、アンケートの回答が求められました。私は一定の評価を与えつつ、「主催者から視聴者へ、動機づけメール等を送信してはどうか」とも提案してみました。

(広報推進本部 荒木久美子)

編集後記

▽気分も新たに新年度。今号では、新入会員の皆様へ、地区会からの熱い歓迎メッセージをお届けします(17P〜)。地区会の皆様にはお手間をいただき、改めて御礼を申し上げます。多くの新人さんが加わって、連携の輪が広がることを祈念します▽特集記事は「我が事丸ごと地域共生社会」。いままさに整備されている途上の政策ですが、これは間違いなく、社会福祉士という職業に少なからぬ影響をもたらします。でも、大事なことは「お節介で世話焼きな、おっちょこちょい」であることなんです…。詳しくは本文をお読みください。今回は初の試みとして、収録を公開で行いました。パネリストの皆様、傍聴にお越しいただいた皆様、ありがとうございました▽生涯研修制度のQ&Aガイドも掲載しました(29P〜)。これはもう、勉強するしかないですね!?

(広報推進本部編集長：福島敏之)

発行：公益社団法人 東京社会福祉士会
 発行人：大輪典子
 編集：広報推進本部
 印刷：東京都大田福祉工場

お問合せ先



公益社団法人 **東京社会福祉士会**
 Tokyo Association of Certified Social Workers

〒170-0005
 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階
 TEL : 03-5944-8466
 FAX : 03-5944-8467
 mail : cswtokyo@tokyo-csw.org
 H P : http://www.tokyo-csw.org



ホームページが
 ご覧いただけます
 QRコード